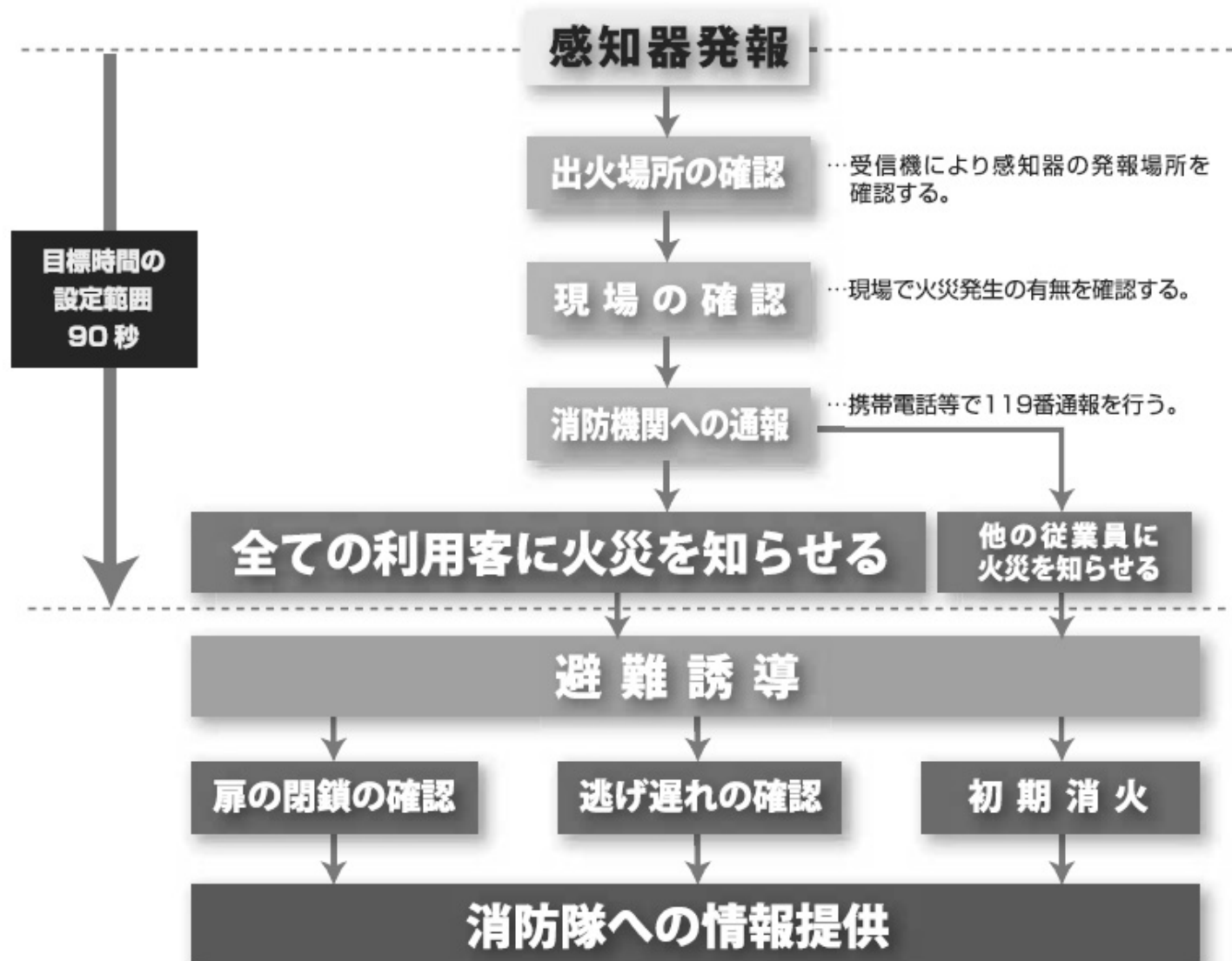


個室型店舗の消防訓練フロー図



※個室型店舗の訓練では、通報・避難に主眼を置いていますが、火災発見時に天井まで炎が届いていない場合は、初期消火を優先する方が効果的な場合があります。

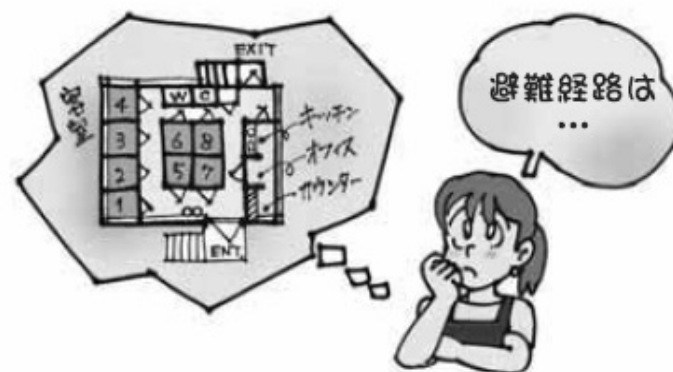
日常の点検と確認

■避難経路の確認と日頃の整頓



通路に物が放置されていたり、非常口がふさがれていると、避難経路が断たれ、大変危険です。避難経路が確保されているか、常に確認しましょう。また、張り紙等で、物を放置しないよう呼びかけるのも効果的です。

■店舗のつくりをよく知っておきましょう



火災時には照明が消えてしまうことがあります。日頃から店舗のつくり(間取りや出入口)を頭に入れておくことが大切です。

個室型店舗の

●お客様とあなた自身の安全のために

消防訓練

●まさかの火災に備えて

マニュアル

●パニックにならないように



まさかの火災に備え、
火災時の対応を頭に入
れておいてください。

I 危険性と行動フロー

個室型店舗での訓練の
ポイントは、迅速・的確な
通報と避難です。

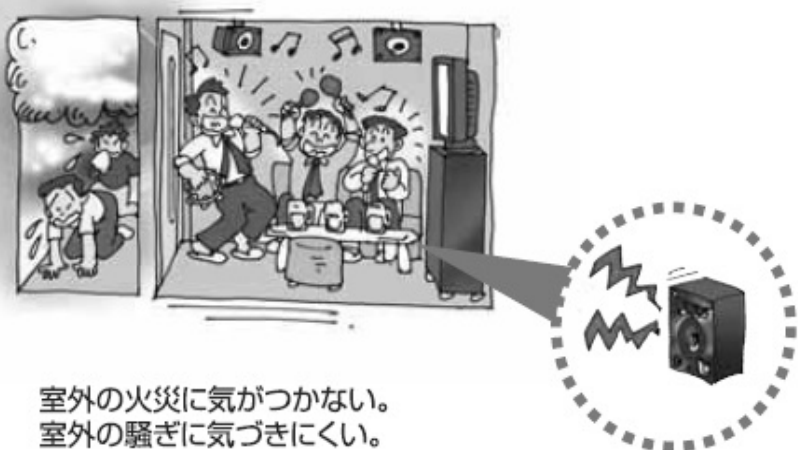
1…想定される火災と被害の危険性

個室型店舗では、その独特の店舗構造と形態により、火災時の様々な危険性が指摘されています。

※個室型店舗とは、個室ビデオ店、インターネットカフェ、カラオケボックス、テレフォンクラブ等をいいます。

まさかの火災に備え、適確な行動がとれるように消防訓練を行ってください。

●大音響



●閉鎖環境



●人手不足



●密集構造



●寝たばこによる出火



2…個室型店舗での消防訓練の行動フロー

火災の状況や対応する人員の数、利用客の状況などによって対応方法は異なりますので、臨機応変に行動できるように訓練してください。

火災発生

通報

消防への通報はとにかく早く！



携帯電話から通報



固定電話から通報

避難

まずは利用客を安全な場所へ避難誘導してください。



館内への周知



排煙窓の開放

消火

初期消火も大切です。
天井まで炎が届いていなかったら、初期消火を試みます。



消火器による初期消火



屋内消火栓による初期消火

目標 1：個室型店舗の火災への対応ポイントは、迅速・適確な通報と避難です。

目標 2：すべての利用客が避難を開始するまでの目標時間を 90 秒以内としましょう。

まさかの火災に備え、
119番通報の手順を頭に入
れておいてください

II 通報の流れとポイント

いざというときに、
適確に行動できるよう
繰り返し訓練してください。

館内への報知

1 火災発生



自動火災報知設備のベルがなりました。
どこかで火災です!

2 発報場所の確認



発報場所を確認します。

3 現場の確認



大きな声で火事を知らせながら、
同時に排煙窓を開放します。



4 消防への通報



携帯電話などで速やかに119番通報します。
火災の状況を判断し、行動に余裕のある場合は、
消火器を準備しながら、通報できればなお良いで
しょう。

- 所在地、ビル名
- 店名
- 何が燃えているか
- 階数
- 目標物
- 通報者氏名・電話番号

を正確に通報します。

119番通報メモ

1 火事ですか・救急ですか?

火事です・(救急です)

2 住 所

市・区・町・村 町 丁目 番 号
建物(ビル)の名称・階数・店名は...

3 お店の名前は何ですか

4 何が燃えていますか(出火箇所はどこですか?)

5 目標となるもの

近くにある目標となるものは...

6 通報者の氏名

あなたの氏名

7 通報者の電話番号

電話番号

この電話の番号は... ()

※この119番通報メモに通報項目を記入して、電話の前などに貼っておくと便利です。

携帯電話などからの通報

携帯電話などからの通報では、位置情報が十分確認できないことがあります。119番通報に際しては、これまでどおり住所等通報位置や目印となる目標物を伝えるようお願いいたします。



通報事項

- 火事ですか・救急ですか?
- 所在地町名、番地、ビル名
- 燃えているものは何ですか?
- 目標となるものは?
- あなた(通報者)のお名前
- 携帯電話の番号(再通信のため)

まさかの火災に備え、
避難誘導の手順を頭に入
れておいてください

III 避難誘導のポイント

いざというときに、
適確に行動できるよう
繰り返し訓練してください。

1…個室型店舗の特性

個室型店舗では、閉鎖空間で大音響やヘッドホンを使用
するため、火災に気づきにくいという潜在的な危険性が
あります。



カラオケボックス



漫画喫茶



インターネットカフェ



個室ビデオ



テレフォンクラブ



2…まず大切なのは利用客に火災を知らせることです！

POINT-1



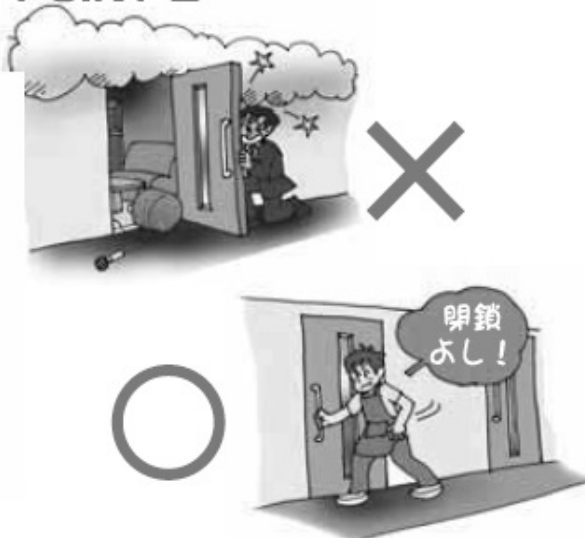
客室ひとつひとつのドアを開き、
大きな声で火災を知らせます。

注意



眠っていたり、アルコールをたくさん
飲んだ利用客には、目がさめるよう
携帯拡声器が効果的です。

POINT-2



通路が狭い場合、避難経路確保のため、客室
ドアは必ず閉めましょう。

3…避難訓練

利用客役も設定し、火災を想定して訓練します。
互いに役割を交代すると、なお実践的な訓練になるでしょう。

1 火災発生



自動火災報知設備のベルがなりました。
どこかで火災です！

3 客室へ知らせる



客室ドアを開き、利用客に火災を知らせます。

5 逃げ遅れの確認

店内を回って、逃げ遅れを確認します。
ドア等に確認したことを示す目印を
つけると効果的に確認できます。



2 館内への火災報知



館内へ知らせます。
カットリレー対応になっていれば、客室の通常音
響設備がOFFになり、火災を知らせることがで
きます。

カットリレーとは
非常放送設備が起動した時に、BGMやカラオケ装置などの
音響設備が自動的に停止する措置

4 避難誘導



利用客を誘導します。
「頭を低く！煙を吸いこまないように！」

まさかの火災に備え、
初期消火の手順を頭に入
れておいてください

IV 初期消火のポイント

いざというときに、
適確に行動できるよう
繰り返し訓練してください。

1…消火器の確認〈設置場所・使用方法〉



まさかの火災発生！ こんなときに、あわてて消火器を火に投げつける…なんて、
信じられないようなパニックに陥らないように…
日頃から、消火器の設置場所、使い方を確認しておきましょう。



2…初期消火訓練

1 火災発生



キッチンに戻ってきたら、天ぷら鍋の中に
火が燃え移っていました！

2 初期消火判断



天井まで火は届いていません。
まだ消すことができそうです。

「火事だ！火事だ！」と叫び、周囲に火災を
知らせます。

3 消火器の準備



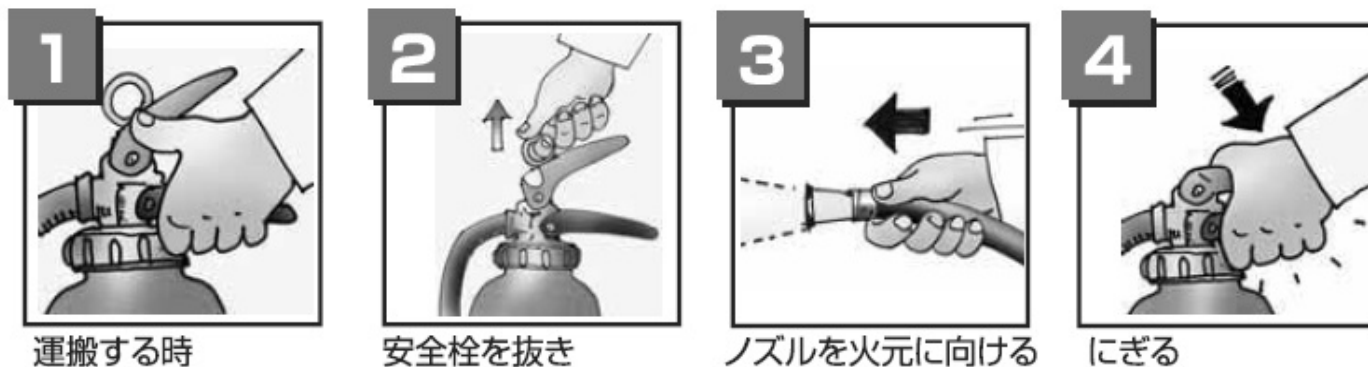
慌てずに消火器を準備します

4 消火活動



火元に向けて消火剤を放出します。
火が消えたら、ガスの元栓を閉めます。

消火後、再燃しないように、天ぷら鍋の
温度が完全に下がったことを確認します。



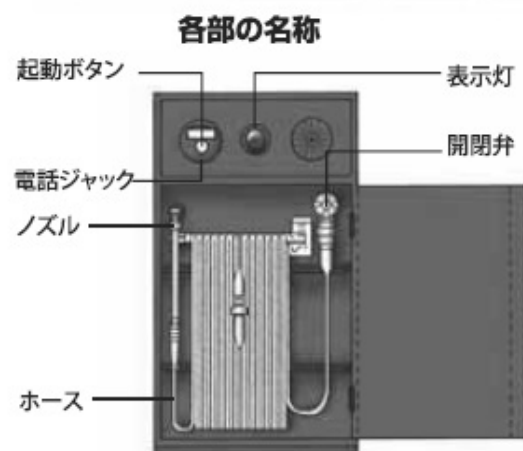
まさかの火災に備え、
使用方法を
知っておいてください。

消火設備

避難器具

屋内避難経路を断たれた時
脱出する手段を
知っておきましょう。

1…1号消火栓の使い方



①消火栓ポンプ起動



起動ボタンを押し、消火栓ポンプ
を起動します。
(起動ボタンが扉の内側に
ある場合もあります。)

②ホース延長



ホースにねじれがないように確認しながら
延長し、出火箇所に向かいます。

③開閉弁開放・放水開始



出火箇所に接近した操作員の放水準備ができたなら「放水はじめ!」
の合図で、消火栓の開閉弁を開放し放水します。

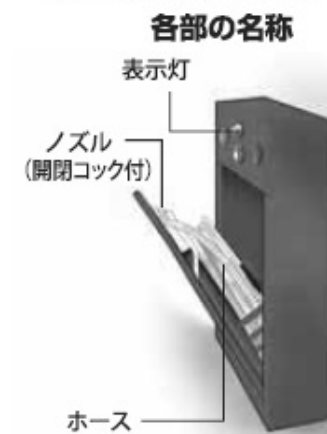


注意

ホースを延長する前に
開閉弁を開けると、水で
充満したホースがボックス
内に詰まって取り出せ
なくなる事があります。
必ず操作手順を守ってく
ださい。

2…2号消火栓・易操作性消火栓の使い方

2号消火栓・易操作性消火栓は、ホースがドラムに収納されているため、収納状態でもホース内に水を流すことができます。このため、一人で操作することができます。



■開閉弁開放



開閉弁を開放すると消火栓
ポンプが起動します。

■ホース延長



ホースを持ちながら、出火箇
所に向かいます。

③放水



ホースノズルのコック
を開き放水します。

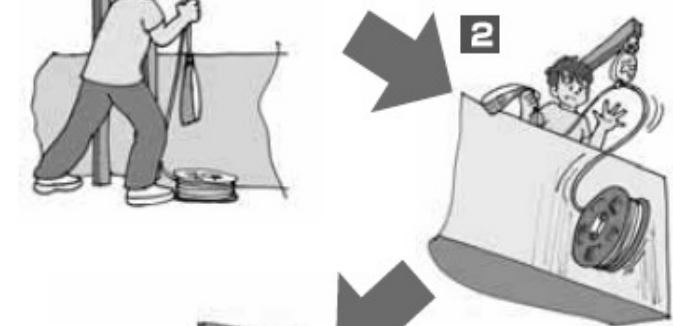
例 - 1…緩降機



非常口から逃げられないとき、
避難器具を使って脱出しな
くはなりません。
日頃から設置場所と使い方を
調べ、確認しておきましょう。



1 緩降機本体を金具に取り付け
ます。



3 取付金具に緩降機を取り付け
たことを確認し、下の安全を確認
してから、リールを地面に落と
します。

2 落ち着いて避難器具を装着して…
付け方を間違えないように。



4 避難器具の使い方を指示しな
がら、避難を補助します。



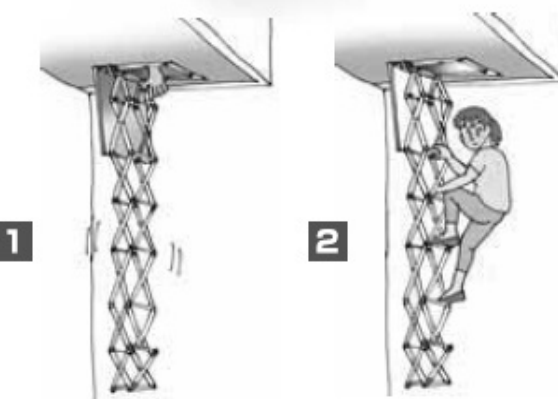
注意

1. 訓練中は安全を管理する担当者を設けましょう。
2. ホースを延長するとき障害となる物がないか確認しましょう。
3. 放水する時はノズルから絶対に手を離さないようにしましょう。

例 - 2…避難はしご



避難はしごも大切な避難器具
です。
いざという時に使えるように
維持・管理されているか、定期
的に確認しておきましょう。



1 落ち着いて避難はしごを下
の階に下ろします。

2 落ち着いて注意深く下の階
に降り、避難します。



注意

避難はしごの直下やカバーの上に、ものを放置しない
ようにしましょう